

# 毛利元就

## 郡山城入城500年記念事業がスタート!

— 元就がつなぐ今と昔 —



くわしくはこちら!



市ホームページ

「入城500年記念事業始動! ~元就がつなぐ今と昔~」

令和5年は、毛利元就が家督を相続し、本拠である郡山城に入城して500年にあたる記念すべき年です。



安芸高田市歴史民俗博物館蔵

大永3(1523)年8月10日(新暦では9月19日)、27歳だったわしは毛利氏の本拠であった吉田の郡山城へ入城したんじゃ。わしは毛利弘元の次男として生まれたが、当主であった兄興元、さらにはその子幸松丸が相次いで亡くなったため、重臣らの要請により家督を相続することになったんじゃ。

元就の入城日は郡山山腹の満願寺住職の占いによって決められました。それ以後、元就は安芸の国人領主から、中国地方全域を支配する戦国大名へと飛躍していきました。

来年、令和5年はその入城からちょうど500年。市ではこれを記念したさまざまな事業・企画を計画しているほか、市民の皆さんが企画・実施する事業も募集しています。入城500年を一緒に盛り上げていきましょう!

### イベントてんこ盛り! こんなイベントが開催されます!

**8月21日(日)**

公開講座  
「戦国期毛利氏の食」

講師: 県立広島大学  
杉山 寿美さん

〒歴史民俗博物館  
〒歴史民俗博物館  
☎お太助フォン 42-0070

**9月19日(月・祝)**

入城500年記念  
カウントダウン  
スタートイベント

〒ゆめタウン吉田  
〒生涯学習課 文化・スポーツ係  
☎お太助フォン 42-0054

**11月6日(日)**

郡山城史跡ガイドツアー  
(デジタルマップガイド)  
タブレットを活用して  
郡山城をガイドします

〒郡山城跡  
〒観光協会  
☎47-2550

**11月13日(日)**

毛利元就フェス2022

- ・神楽「厳島合戦」上演 (出演: 吉田高校神楽部)
- ・公開講座「厳島合戦の実像」 (講師: 秋山 伸隆さん) など

〒クリスタルアーヂョ  
〒商工観光課 観光係  
☎お太助フォン 47-4720  
〒歴史民俗博物館  
☎お太助フォン 42-0070  
〒観光協会  
☎47-2550

**12月31日(土)・令和5年1月1日(日)**

入城500年記念事業  
オープニングイベント  
(年越しイベント)

- ・神楽上演など

〒調整中  
〒生涯学習課 文化・スポーツ係  
☎お太助フォン 42-0054

**令和5年3月19日(日)**

トークライブ  
「昇太の城あるきのススメ」

講師: 落語家  
春風亭 昇太さん ほか

〒クリスタルアーヂョ  
〒生涯学習課 文化・スポーツ係  
☎お太助フォン 42-0054

※イベントの日程、名称などは変更する場合があります。

## あなたも一緒に500年記念事業を盛り上げてみませんか?

市では多くの市民の皆さんと一緒にイベントを盛り上げるべく、イベントの企画・実施、特産品・ご当地グルメの開発、市民交流事業、書籍などの制作、展示・コンテストの実施など市民が企画する事業を募集しています。入城500年の記念すべき年を、一緒に市内外に発信していきましょう!

### 募集要項

#### 《 募集期間 》

- [ 第一次募集 ] 7月1日(金)~8月31日(水)
- [ 第二次募集 ] 9月1日(木)~11月30日(水)

#### 《 対象事業 》

- ・毛利元就、毛利氏城跡を核とした本市の歴史・文化の価値や魅力を高めることが期待できる事業
- ・市民のニーズが認められ、事業の実施により市民の満足度が高まる事業
- ・団体等が自主的かつ自発的に実施する事業
- ・令和5年3月31日までに完了する事業
- ・入城500年記念事業のPRや市民が広く参加できるなどの効果が期待できる事業

#### 《 応募条件 》

市民団体、企業、個人事業者  
※市外の団体の場合は、市内の団体などが協力団体になっている必要があります。

#### 《 採択を受けると助成金が交付されます! 》

- [ 助成対象事業費が20万円以下の場合 ] 助成率10/10(下限:10万円)
- [ 助成対象事業費が20万円を超える場合 ] 20万+20万を超える部分×助成率1/2(上限:50万円)

〒生涯学習課 文化・スポーツ係 ☎お太助フォン 42-0054



今、私たちは、これまでを振り返り、これからの見据える、絶好の機会を得ています。来年は、毛利元就が郡山城へ入城し、歴史の転換点を迎えて、500年の節目の年です。500年の間、まちは大きく姿を変えながら、むしろ変えたからこそ、まちとして続いてきました。これからも幾多の変化があるはずですが、その中でまちは続いていきます。次の500年で受け継がれる安芸高田市を、この記念の年にみんなで創り上げましょう。どんな伝統にも始まりがあります。誰かが思い付き、取り組み、そうして伝統は生まれてきました。今が、その時です。力を一つに、心の一つに。